

CASBEE®広島

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヴェルディ井口5丁目新築工	階数	地上13F
建設地	広島市西区井口五丁目722番8、722	構造	RC造
用途地域	第1種住居専用地域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2018年8月16日
敷地面積	1,558 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	343 m ²	確認日	2018年8月17日
延床面積	3,481 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ 温暖化影響チャート	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> <p>環境品質 G</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 81%</p> <p>③上記+②以外の 81%</p> <p>④上記+ 81%</p> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q 環境品質		
Q のスコア = 2.9		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 3.3</p> <p>音環境 3.2</p> <p>温熱環境 2.9</p> <p>光・視環境 4.1</p> <p>空気質環境 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.2</p> <p>機能性 3.7</p> <p>耐用性 3.0</p> <p>対応性 2.8</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 2.2</p> <p>生物環境 1.0</p> <p>まちなみ 3.0</p> <p>地域性・ 2.5</p>
LR 環境負荷低減性		
LR のスコア = 3.0		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 3.2</p> <p>建物外皮の 3.0</p> <p>自然エネ 3.0</p> <p>設備ンステ 3.4</p> <p>効率的 3.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 2.6</p> <p>水資源 2.2</p> <p>非再生材料の 2.6</p> <p>汚染物質 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.1</p> <p>地球温暖化 3.7</p> <p>地域環境 2.7</p> <p>周辺環境 3.0</p>

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア = 2.9		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.0	スコア = 2.0	スコア = 3.0
<p>設計の計画し特段に配慮した事項</p> <p>//・LED照明等の高効率設備機器の採用 //・LGS下地の採用 //・LCCO₂排出率=81%</p>	<p>設計の計画し特段に配慮した事項</p> <p>/</p>	<p>設計の計画し特段に配慮した事項</p> <p>・給排水管は上位3種がB以上、Eは不使用 /</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される